

給付金の申請はお済みですか？

対象者1名につき **5千円** 支給されます。

お手元に、青い封筒に入った申請用紙はありませんか？

「対象だったのに申請していなかった…」

とならないよう、まだ申請していない場合は期限までに手続きをお願いします。

申請は、**インターネット申請**または**郵送申請**が可能です。

特に**インターネット申請**はスマートフォンやパソコンから24時間手続きができ便利です。

給付対象者

- 基準日(令和7年12月31日時点)に住居基本台帳に記録されている者
※外国人を含む
- 基準日の翌日以後令和8年3月31日までに出生した新生児

注意事項

- 郵送の場合、当日消印有効です。
- 申請受付期間に申請がなかった場合は給付金を支給することができません。

その他

○町役場町民課および各出張所で随時申請支援をしています。申請の方法に不安がある方は、お気軽にお尋ねください。

○申請書がお手元にない方は、再発行をしますので町役場町民課に電話をしてください。

詳細については町ホームページをご確認ください。

”振り込め詐欺”や”個人情報の搾取”にご注意ください



照会先 町民課 ☎85-7160

- ・町職員が**ATMの操作**をお願いすることは、絶対にありません。
- ・ATMを自分で操作して、**他人からお金を振り込んでもらうことは絶対にできません。**
- ・本給付金を支給するために、手数料などの**振り込みを求め**ることは絶対にありません。

行政書士による

無料相談会



高齢や病気が原因で、身の周りのことや財産のことなどの判断が適切に行えなくなることがあります。

自分自身の、そして大切なご家族の将来に備えるため、気になる“こと”を相談してみませんか！

～成年後見・遺言・相続等～

<開催日時および場所>

○令和8年5月18日（月）

箱根町役場分庁舎 第6・7会議室

時間 14:00～16:00（最終受付は15:30）

次回は…令和8年6月25日（木）

箱根町仙石原文化センター2階会議室にて開催予定

※ ご相談は事前予約をお願いしております。

お問い合わせ・事前予約は…

箱根町地域包括支援センター 0460-85-3002 まで

箱根町地域包括支援センター

一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター—神奈川県支部小田原西地区

行政書士による無料相談会では…

～成年後見制度～

自分自身で判断することが難しい方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、財産の管理や福祉サービス等の契約を行い、ご本人の権利を守り生活を支援してくれる制度です。無料相談会では成年後見利用までの流れや家庭裁判所の申し立てに必要な書類や手続きについての相談ができます。

～遺言・相続～

自分の遺産をどのように使い、子孫たちにどうやって分配するかなど、将来争いが無いように不備なく遺言を作るための相談ができます。

～その他～

行政書士は『街の法律家』として官公署（役所・役場）・契約書等の書類作成や一般法律相談など、身近な書類手続きについてもいろいろな視点からアドバイスを行ってくれます。

まずは下記までお問い合わせ・ご予約下さい

箱根町地域包括支援センター 85-3002

湯本幼児学園だより そよかぜ No.1

令和8年4月8日
箱根町立湯本幼児学園

◎箱根一貫教育の合言葉
『箱根を愛し かしこく やさしく たくましく』
◎湯本幼児学園個性化目標
『異年齢保育を生かした園づくり』

✿入園・進級おめでとうございます✿

多種の桜が次から次へとバトンタッチして咲き誇っています。ピンクでも薄いものから濃いものまであり、人も同じ十人十色ですね。花吹雪の中、15名の新入園児が入園しました。(途中入園児6名を含む)

途中入園したお子さんはすっかり園に慣れ、自分のやりたい遊びに意欲的に関わっています。

新入園児は、小さな社会への一歩を踏み出し、お家の方と離れるのに不安を感じているお子さんもありますが、先生との関わりや興味のある遊びを楽しむことから、徐々に慣れていくことでしょう。今年は小規模園などで保育を経験したお子さんが多いです。お友達の作り方も知っていて、積極的に話したり、遊びに入っていく様子が見られます。

在園児は、「一緒に遊ぼう」と誘い、優しく関わる姿があります。一つお兄さん・お姉さんになって、ちょっと得意気な顔をしているかわいい子ども達の様子を見ているとこれから一年が楽しみです。

始業式では、1学期の目標として、2つお話をしました。一つ大きいクラスになった子どもたちが誇らしい笑顔でお話を聞いていました。

① **元気に挨拶をしましょう**…元気に挨拶やお返事ができると気持ちよく一日が送れます。今はまだできなくても信頼関係が築けたり、自信がついたりしてくると自然と大きな声が出せるようになります。

② **友達と仲良くたくさん遊びましょう**…『遊びは学び』たくさん遊ぶ中で面白いこと、不思議なことに出会ったり、どうにもできない難しいことにぶつかったりする中で、面白いことを経験した子はもっと面白いことを見つけます。困難にぶつかったら考えます。そんな毎日を送ってほしいと思います。

日々、心を耕して豊かな人になってほしいと願います。
本年度も園運営にご理解ご協力よろしくお願いたします。

園だよりの名前は『そよかぜ』

子どもがゆったりじっくり遊ぶ中をそよそよと心地よい風が通り抜けるような園でありたいと思い、ネーミングしました。遊びに没頭している横をさりげなく吹き抜ける風、汗を拭くようなさわやかな風…穏やかな毎日が続きますように🍀

【令和8年度湯本幼児学園職員紹介】

- ☆0歳児…堂脇 徳子
- ☆1歳児…坂本 友香・井上 寿子
- ☆2歳児…平井佳恵子・竹内 舞(新採用)
- ☆3歳児…高橋智恵子・長篠 諒二
(二人とも仙石原幼児学園より)
- ☆4歳児…小倉真由美
- ☆5歳児…和田 裕樹
- ☆みんなの先生
小笠原玲子・岩本 治子
秋澤佳世子・杉崎 悦子
- ☆土曜保育…剣持ゆかり
- ☆子育てサロン
小林久美子・池浦 千恵
- ☆庁務員…鈴木 由美
- ☆副園長…白川 三枝(箱根幼稚園より)
- ☆園 長…峰 明子

転出された先生方、いつも子ども達を温かく包み込んでくれてありがとうございました。次の職場でのご活躍をお祈りします。

《異動された先生》

石黒 幸子・勝保京代恵(仙石原幼児学園へ)
白土麻衣子・浅田菜津美(宮城野保育園へ)

《退職された先生》

對木奈都子

元気な赤ちゃんが生まれますように☆



今年も晴天の下桜が舞う園庭で入園式が行われました



写真の掲載について

日常のお子さんの写真をおたよりで活用したり、広報などの掲載やテレビ撮影などへ協力したりすることについて、使用許可を頂けない方は担任へお申し出ください。



みやぎの けんきょだより

箱根一貫教育 箱根を愛し
かしこく・やさしく・たくましく

今年の桜は、まるで入園進級の時期に合わせ、見事に満開なり子ども達にお祝いをしてきているように咲き誇っています。
進級・入園おめでとうございます。
今までのいたさくら組(5歳児)が登園してこない現実に自分達は進級したんだと実感しているようです。ちょっぴり不安、ちょっぴり嬉しい気持ちを丸ごと受け止め、温かい保育をしていきます。一年間よろしく願いいたします。

令和8年度教育目標

『のびのびと心温かい箱根の子どもの育成』
箱根を愛しかしこくやさしくたくましく
～運動遊びを楽しみ心身共に健康で

笑顔あふれる園づくり～

運動は日頃から園庭でもホールでも散歩道でも体を動かし、多様な動きを楽しんでいます。運動をしようと子ども達は意識しているわけではなく、幼児期に体を使って遊ぶことが重要とされています。環境を通して、思わず体を動かしたくなる遊びを子ども達と一緒に作っていく園を目指します。興味があるから、楽しいからという気持ちがあると持続します。ご家庭でも意識して今しかできない触れあい運動遊びを楽しんでみてください。

職員紹介

0歳児担任	浅田菜津美
1歳児担任	三尋木望・岡田礼子
2歳児担任	安達佳子
3歳児担任	小清水希実
4歳児担任	萩原帆夏
5歳児担任	白土麻衣子
みんなの先生	久保由紀江 関望 田村雅美 玉井由里 堂畑佐知子
子育てサロン	久保由紀江 関望
庁務員	野地祐美
副園長	北川美穂
園長	里中泉

職員一同、笑顔で元気に保育してまいります。
一年間よろしく願いいたします。

職員の異動・退職のお知らせ

井上あすか先生(仙石原幼児学園へ)
黒沢千尋先生(仙石原幼児学園へ)
早川芳枝先生(退職)
鈴木裕子先生(退職)

今まで子ども達にたくさんの愛情をありがとうございました。これからますますのご活躍を期待しております。

4月7日クラス保育はじめ式

ホールに久しぶりにクラスごとに集合しました。進級して嬉しそうな子ども達の表情を見て、私達保育者もワクワクしてきました。新しい出会い、新しい出来事を大切に、日々を子ども達と楽しんでいきたいです。



ご家庭と共に！園と一緒にお子さんを育てます

子ども基本法理念として、「全ての子どもの人権が尊重され、適切に養育されるとともに、十分な養育の支援が行われ、家庭や子育てに伴う喜びを実感できる社会環境の整備」が掲げられています。子どものみならず、保護者、養育者のウェルビーイング(心身ともに満たされた状態)を大切に、ご家庭とともにお子さんを真ん中に育ち合いを目指していきます。地域のみならず、在園児もサロンが利用できます。降園後、サロンに立ち寄ってみてください。保育者と一緒に子育ての話をしたりお子さんと一緒に遊んだりと利用して頂けたらと思います。いつでもお待ちしております。利用案内は後日配信いたします。

すすきのこ 4月

今年度も毎月1回、園だより「すすきのこ」を発行します。保護者の方へ地域の方へ園児のその時の輝く姿をお伝えしていきたいと思ひます。

箱根教育合言葉 箱根を愛し かしく やさしく たくましく 令和8年4月8日(火) 箱根町立仙石原幼児学園

入園、進級おめでとうございます!

箱根の山がピンク色に染まり、桜の花が咲き誇り、皆さんの進級、入園をお祝ひしているようです。新入園児8名を迎え、56名で令和8年度の仙石原幼児学園がスタートしました。入園、進級おめでとうございます。

入園式では、新入園児8名。昨年度途中入園の園児6名を含めて14名をお迎えし、にぎやかな雰囲気の中行われました。その中で、新さくら組(年長)の子供たちが元気にお迎えの言葉と歌を披露してくれました。

新年度がスタートして入園、進級で、うれしい半面、緊張から不安な姿を見せることもあります。園と家庭とで連絡を密に取り合い、お子様の成長を共に喜び、見守っていきたく思ひます。1年間ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。

クラス懇談会について

今年度も、次のようにクラス懇談会を行います。各年齢の1年間のクラスでの取り組みや家庭での過ごし方などを担任からお話します。また、保護者からの悩みや質問にもお答えします。クラスの担任や保護者と話をする機会ともなりますので、お忙しいとは思ひますが、参加して頂きたいと思ひます。

- ・もも組 15日(水) 13時~14時
- ・ゆり組 14日(火) 13時~14時
- ・さくら組 20日(月) 13時~14時

※ゆり組、さくら組は、スクールソーシャルワーカーの瀧本先生。もも組は巡回相談でお世話になります。心理士の穂坂先生に家庭教育講座の講師として30分お話を頂きます。その後懇談会となります。

※年に1回の機会ですので全員参加をお願ひしたいです。不参加の方は、担任または、園長、副園長に声をかけてください。

※乳児クラスは、6/18の乳児ふれあい会の際に行います。こちらもお参加のご協力お願ひいたします。

職員紹介

- 0歳児担任 齊藤 貴美
- 1歳児担任 多田 裕美
- 2歳児担任 井上 あすか(宮保) 小室亜希子
- 3歳児担任 勝俣京代恵(湯本)
- 4歳児担任 高畑 愛 黒沢 千尋(宮保)
- 5歳児担任 對木 佳秀 今村 光<新採用>
- みんなの先生 勝俣 恭子 松下 佳代子
- 對木 真知子 諸星 道子
- 木村 里美 石橋美由樹
- 松坂 紫織 塚原 章子
- 子育てサロン 西野 純子 田子 訓子 甲斐 利恵
- 庁務員 眞壁 真由美
- 副園長 石黒 幸子(湯本)
- 園長 小山 千恵美 (異動前の園)

令和8年度は、23名の職員で保育をしていきます。今年も全職員で全園児の成長を見守っていきます。

職員の退職・異動について

- ・熊澤 由起 先生 箱根幼稚園園長就任
- ・高橋 智恵子先生 湯本幼児学園へ異動
- ・長篠 諒二先生 湯本幼児学園へ異動

*土田 智己先生 令和8年3月31日退職

*川口 美波先生 令和8年3月31日より産休

今まで、ありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りします。

4月8日 入園式 を行いました。





箱根教育合言葉

「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

進級おめでとうございます

恩賜公園の桜が満開。新年度が始まりました。今年は5歳児2名、4歳児3名の5名でのスタートです。さっそく散歩に出掛けました。大きな桜の下に潜り込み、心を躍らせ全身で春を感じている子ども達。子どもは心地よい場所、楽しい場所を見つける天才ですね。自然との関わりはもちろん、子どもが主体的に物や人、場所に関わろうとする姿を大事に、共に楽しみ支えていきたいと思えます。



令和8年度教育目標

「のびのびと心温かい箱根の子どもの育成」
箱根を愛し かしこく やさしく たくましく

個性化目標

「こども・保護者・地域と園が心を通わせ共に学び合う園づくり」

昨年度多くの実体験を積み重ねてきた子ども達。新年度進級を楽しみ登園してきました。始園式で名前を呼ばれ、先生や保護者の方に大きな大きな拍手と「おめでとう！」の声に、何とも言えない嬉しそうな表情をしていました。保護者の方の我が子だけでなく、一人一人の子どもを心から祝福してくださる気持ち。その雰囲気をしっかり子ども達は感じていたようです。

その子のペースやステップ、表現等々を大事な個性と考え、5人それぞれの育ちを共に喜び、皆で楽しんでいければと思っています。

また地域での様々な体験や温かな声が子どもの大きな育ちに繋がっている事に感謝しています。地域での経験を園での活動に生かしていけるよう工夫していきたいと考えます。

一年間よろしく願いいたします。

今年度最初の移動図書館「きつつき号」

絵本バックをもって張り切って貸し出しに出発！

早速ホールで見えていました。1対1で先生との触れ合いを喜びながら絵本を見ていたり、ゆったり寝転がり気持ちよさそうに先生や友達と会話をしながら楽しんでいたりと、暖かな空気が流れていました。絵本っていいですね。

子ども達の生活や遊びの様子を写真等でたくさん共有していきたいと思っています。園にも1台デジカメがあるのですがご家庭で使用していないものがありましたらご連絡いただくと助かります。



花まつり

お釈迦様の誕生日

どうぞ見守っていて

ください



令和8年度 職員紹介



5歳児担任	金井 潤子
4歳児担任	小林 篤子
みんなのせんせい	平井 さつき
庁務員	安藤 弘毅
園長	熊澤 由起

*5人の職員で力を合わせ、大事なお子様の育ちをしっかりと支えていきます。

一年間どうぞよろしく願いいたします！

職員の異動がありました

白川 三枝 先生・・・湯本幼児学園へ

*子ども達へ愛情いっぱい保育をありがとうございました！

ますますのご活躍をお祈りします。

用務員 村田 照美さんが退職となりました。

*長い間、園の環境整備その他沢山のお心遣いで園を支えてくださいました。また明るく園を盛り上げてくださいました。

深く感謝申し上げます。

新しい遊具(二人乗り三輪車)が届きました！

前の席で運転したく小さな取り合い。しっかり思いを主張する2人。トラブルも大事な経験。いつの間にか2人共前(の席!?)になり、まるでサーカスのようでした。器用に乗り自分たちで問題解決！



箱根町シェアタウン通信

vol.3

令和7年度

このまちで働く、このまちで暮らす。未来を育てるまちづくりマガジン

Event Report

町の魅力を、みんなで次の世代へ「箱根町シェアタウン感謝祭」 多世代も、事業者も！地域ぐるみで子育て応援

箱根町や地域の皆さまと共に、世代や立場を超えて頼りあえる関係を育む「箱根町シェアタウン」。その一環として、令和8年1月11日、「箱根町シェアタウン感謝祭」を開催しました。子どもたちを中心に様々な体験してもらおうと、多様な世代・立場の方が書き初めやアート体験、箱根カルタ、ニュースポーツ「ピククルボール」などを提供。「町内にこんな得意をもった方がいたんだ！」という新たな出会いとつながりが、地域や世代を超えて楽しい会話と交流を生む、豊かな時間となりました。

アプリ「マイコミュ」を活用したトークン抽選会も初開催！地元事業者から食事券や特産品など多くの景品が集まり、住民が箱根の魅力を見出すきっかけにも。日頃の地域交流や助け合いが“楽しさ”や“ワクワク”として返ってくる仕組みに、「また参加したい」「続けていきたい」という声も聞かれました。



できる人が、できるときに、得意なことに関わる。それが、少しずつ地域の力になっていく—
人と人とのつながりのあたたかさを、あらためて感じる一日となりました。今後も、箱根で暮らす皆さんが主役となり、得意や経験を持ち寄りながら、楽しみの中から地域

課題の解消につながる取り組みを支えていきます。ご協力・ご参加いただいたすべての皆さまに、心より御礼申し上げます。



ご協力いただいた事業者のみなさま (順不同・敬称略)

藤田観光株式会社
富士屋ホテル
強羅観光協会
箱根美術館
さがみ信用金庫湯本支店

田むら銀かつ亭
大正本店
洋食屋オリーブ
ラーメン蔵一
渡邊ベーカリー

山川屋
NARAYA カフェ
カフェ・ド・モトナミ
カフェ&バーよう
旬幸セレクトショップ

花詩
大和館
相原精肉店
勝俣豆腐店
うなぎ乃稻荷舎

小林たばこ店
仙石原地区社会福祉協議会
緑と青空のふれあい食堂
星槎大学箱根キャンパス

箱根町シェアタウン 子育てを支える“ひと”インタビュー

このまちで、育てていく。私たちの箱根ライフ
福田 篤史さん/石井 寿美子さん/安藤 友江さん

中面も
みてね!

このまちで、子育てしていく。私たちの箱根ライフ

箱根町シェアタウン 子育てを支えるひとインタビュー



湯本富士屋ホテル 支配人
福田 篤史 さん

子育て世代が楽しめる 場をつくりたい

箱根町シェアタウンにおいて、“場づくり”の側面から支えている福田さんは、「制度の充実はもちろん大事ですが、無理なく続けられる実感が一番大事だと感じています」と語ります。職場環境においても、特別な優遇というより、一人ひとりの状況に応じた“配慮”を重視し、たとえば妊娠初期のつわりが辛い時期には「立ち仕事が減るように、事務に切り替えたり、総務へ配置転換したりしています」と言います。

象徴的なのが2015年に始めた保育園事業。「湯本に0～2歳児を預ける場所が少なく、3歳以降で保育園に入れても、そこまで3年ブランクが空くことが課題でした。その3年を助けたかった」のだとか。今は従業員だけでなく

地域枠もあり、旅館など同業の方の利用も多いそうです。閑散期には宴会場を貸し切り、家族で300名ほどが集まる「ファミリー感謝祭」も開催。大名行列やひょうたん祭りなどの地域行事では駐車場を無料開放しています。「間接的ですが、子育て世代が楽しめる場のお手伝いになればと思っています」。

「箱根は同業者同士の距離が近くて、困った時にフランクに頼り合える町。その絆が箱根ならではの強みです」と語り、その強みを語っていただきました。

職場も地域も一体となって支え合う“地域全体で子育てをする”感覚。そうしたあたたかな循環が、この地域には息づいています。

みんなでそだてる 箱根町シェアタウン

箱根町は、町の未来を担うこどもたちを育てる環境をよりよくしていくため、こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、令和6年1月1日に「こどもまんなか応援サポーター」に就任しました。

箱根で暮らす、箱根で働く。そんな今と未来を、もっと楽しく、もっと豊かに。観光業に従事する方が多い箱根町では、休日や働く時間帯もさまざま。仕事のために移住・転入してきた方などからは「地域との関わり、つながりができにくい」という声も聞こえています。箱根町シェアタウン通信では、多様なつながりづくりの取り組みや箱根に暮らす人たちや団体・事業者等を紹介することで「自分らしく箱根に関わり続ける」今と未来の選択肢を広げていきます。

つながりと頼りあい
くらし・子育てラクに、楽しく!

箱根町のアプリ
「マイコミュ」



箱根町 WELCOME TO HAKONE TOWN A-s-Mama
箱根町子育てシェアタウン

こどもまんなか

踊りてつなぐ、箱根の子育て

群舞箱根ソーラン座 座長
石井 寿美子 さん



箱根町シェアタウンを文化と子どもたちの居場所づくりで支える石井さん。ソーラン座は今年で21年目。姉妹都市・洞爺湖のソーラン踊りをきっかけに、箱根全山で共通の踊りを広め、青少年の健全育成につなげたいと活動を続けてきました。年長5歳から参加でき、小学校にも活動の場を広げています。

石井さん自身の子育ては「富士山が見えて、山に登って、野いちごを摘んで。自然に囲まれた環境が本当に良かったです」。人が多くないぶん「家族みみたいな関係」になれる——その箱根らしさを、いまの子どもたちにもつないでいきたいと考えています。

コロナの影響で苦しかった時の活動を支えてくれたのは箱根神社の協力でした。「宮司さんのご協力で境内で踊らせていただきました。子どもたちと箱根神社には感謝しかありません」。

信念は「好きなことを応援する」こと。「私自身が大好きな音楽と踊りで、子どもたちが経験を積める場所を作るのが使命です」と語ります。

世界的なバレエダンサー 熊川哲也氏の公演をプロデュースした経験もある石井さん。「本物や一流の文化を体験できたり、人との距離の近さを楽しめたりできる箱根はメリットだらけですよ」と話してくださいました。

書道×温泉で楽しむ、箱根の時間

大和館 代表取締役女将
安藤 友江 さん



箱根町シェアタウンを子育て世帯の視点から支えている安藤さん。旅館業を営む一方で、「温泉水書道[®]」など書道と温泉を掛け合わせた箱根らしい体験を通して、地元の魅力を楽しく学べる寺子屋体験プログラムに取り組んでいます。

ご自身が箱根で子育てして良かったと感じる点は、暮らしの“ちょうどよさ”。「山にも海にも気軽に行けて、都心にも出やすい距離感がちょうどよい」と語ります。アウトホームな空気も魅力だそう。「子どもたちは少人数クラスのため先生方のサポートが手厚く、地元の人とのつながりも強いため、安心して子育てができます」。

外国人への抵抗感もなく『自然に受け入れる』土地柄が好きですね。

地域活動を始めた動機は「習い事が少ない箱根で、自分の特技が未来を担う子どもたちの役に立てたらと思ったから」。外へ出て人と関わるほど、「出会いが広がり、地域とのつながりが深まっていくことが楽しい」と語ります。

「箱根にはたくさんの協力者がいます。自分の行動次第でまちはもっと面白くなる」と話してくださいました。

多文化で支え合う、箱根の暮らし

10人に1人以上が外国人となった箱根町。
見守りや頼りあい、理解しあう機会の大切さを
伺いました。



宮ノ下自治会長
元波 英敏 さん

宮ノ下自治会長を8年務める元波さんは、宮ノ下を「多様な人が生き、支え合ってきた町」と語ります。自治会のお祭りを手伝っていたネパール出身のジミー（サルマ チランジビ）さんとの出会いをきっかけに、地域では外国籍の子育て世帯に対しても、送迎や声かけなどで暮らしを支えてきました。「異国での子育ては大変。だからこそ頼ってほしい」と元波さん。日々のあいさつや掃除、お祭りへの参加が孤立を防ぎ、支え合いの地域づくりにつながっています。

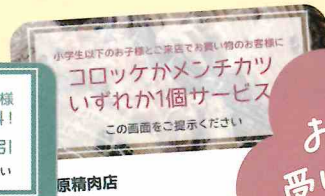
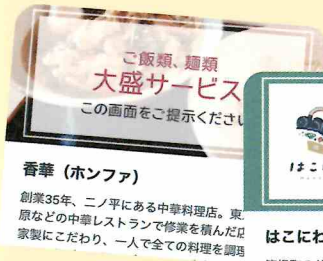


サルマ チランジビ さん
ギミレ ラマラ さん

この町で生きていけるのは「人のあたたかさ」があるから、と夫妻は言います。「子どもが40度の熱を出したとき、近所の方がすぐに車で病院へ連れて行ってくれたのは、忘れられません」。「何かあっても誰かが助けてくれる」という安心が、箱根での暮らしの大きな支えになっているそうです。一方で、外国人と日本人の間には、まだ見えない壁があることも実感しているとか。「お互いの想いや文化を語り合える場を開きたい」と話してくれました。



気になってたあのお店も！箱根のくらし・子育て応援 地域パートナー アプリ提示で割引やプレゼント！



NEWS



お店に行くと、トークンがたまる！
箱根の特産物やサービスが当たる抽選会で使える「トークン」を、地域パートナーの店舗で貯められるようになります！
詳しくはアプリ「マイコミュ」でのお知らせをチェック！

無料ダウンロードはこちら



あなたに合ったスタイルでOK！地域にもっと関わってみませんか

都合がつくときだけ
気軽に手伝いたい



地域の親子の見守りや
交流イベントスタッフなど
ボランティアに登録する

得意や経験を活かして
地域の“つながり”をつくりたい



箱根町で50人以上認定！
「シェア・コンシェルジュ」
に応募する

パートナー事業者として
取り組みを応援したい



特典や協力で応援
地域パートナーに
登録する



ボランティア連絡協議会について

『箱根町ボランティア連絡協議会』（通称：ボラ連）は、箱根町内で“福祉”に関するボランティア活動をする個人やグループが会員となり、ボランティア同士の連絡調整や地域でのボランティア活動の推進・啓発・広報を目的に活動している団体です。

現在は9団体、約60名の会員が登録されています。

この箱根町ボランティア通信では、今年度ボラ連で行った行事、各団体の活動を紹介いたします。

登録ボランティアグループ一覧

- ☆むつみ会 ☆たんぽぽの会 ☆桂秀会
- ☆点字サークルはこね ☆箱根町録音サークル
- ☆二ノ平寄せ木の会《休会中》 ☆宮城野寄せ木の会
- ☆紅葉会 ☆はこねこTNR

計9団体

災害ボランティア

災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加しました

令和7年10月3日(金)、箱根町社会福祉協議会が行っている「災害ボランティアセンター設置運営訓練」に参加協力いただきました。

今年度の訓練は、災害ボランティアセンターの役割について確認したのち、近年県社協を中心に市町村社協に普及されているICT技術を活用しボランティアの受付、登録体験を実施しました。年に1度の訓練ですが、平常時から災害に備えること、災害ボランティアセンターの知見者を増やすためにも、今後も定期的を実施し、協力を賜りたいと思います。

※10月9日(木)に参加を予定していた町総合防災訓練は雨天のため中止となりました。(事務局)



会員交流研修会

令和7年12月10日(水)、箱根町ボランティア連絡協議会・生活支援コーディネーター研修会の共同事業として『孤独・孤立対策推進法とつながりサポーターセミナー』を開催しました。

講師には、神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部生活支援課（生活困窮者対策グループ）の職員を招き、箱根町ボランティア連絡協議会会員、民生委員児童委員、人権擁護委員、女性会、老人クラブ、高齢者サロン関係者、町職員、社協職員等あわせて31名で受講しました。

孤独・孤立を地域で生まないために、今一度地域のことを考えるきっかけとなり、有意義な研修となりました。(事務局)



むつみ会

毎月、宮城野のさくら館にてオレンジカフェ（認知症カフェ）の活動をしています。地域包括支援センターの職員によるミニ講話や参加された皆さんと歌をうたったり、クイズをしたりお茶やコーヒーを飲みながら（お菓子もちよっぴり付いています）楽しい時間のお手伝いをさせていただきます。

これからも地域のボランティア活動に、微力ながら協力してまいります。(勝俣 美内子)



たんぽぽの会

「生活のしづらさ」を抱えた心の病のある方たちと交流することにより、誰もが住み良い地域づくりを目指す目的で開催された「精神保健ボランティア講座」を受講後、活動が始まりました。(平成18年)精神保健福祉士、病院院長、当事者の方のお話、施設体験で基礎的なことを学び、交流会も参加しました。

平成20年には、ボランティア養成講座に「たんぽぽの会」として出席しました。

平成27年のボランティアセミナーでは、正しい知識を持ってより身近なところで支えられる地域を目指し、当事者の自主性と自己決定を促す支援を学びました。

箱根町では「生活教室」を開き、様々なプログラム（ものづくり・レクリエーション・野外活動）を実施しています。話し相手を作ること、生活リズムをつけたりすることを目的としています。令和7年は「ラジオ体操」、「アクセサリー作り」、「茶話会」、「クロスワード」で楽しいひとときを過ごしました。(金指 和子)

桂 秀 会

『遊芸』

35年間ご指導くださった滝口桂子様こと花柳秀昭師匠（94才）が、昨年旅立たれ、お別れは万感胸に迫りました。

日頃の教えに芸事は「遊芸」と言われ、“楽しく・仲良くそして日本文化を大切に”をモットーにお稽古を付けていただきました。

これからも日本舞踊を始めたころのひたむきな気持ちと感謝を忘れることなく、息づく伝統を私たちはポテンシャルを信じ脈脈と精進してまいります。

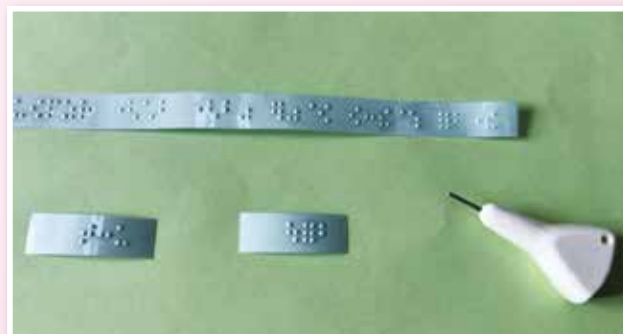
聞こえます!! 踊りの間にはさむ師匠の力強い合いの手が…! (小林 眞弓)



点字サークルはこね

「点字サークルはこね」の活動としては、例年通り、町から依頼された町各課名のシールの作成、広報はこねの点訳（抜粋）を実施しました。また、箱根町選挙管理委員会からの依頼で箱根町議会議員選挙のシールを作成しました。

(代田 美子)



箱根町録音サークル

私たち箱根町録音サークルは、視覚障がい者の方へ町の情報をお届けし、少しでもお役に立てるよう活動をしています。

毎月、月初めに「広報はこね」、他に「社協はこね」年3回、「議会だより」年4回を録音制作しています。利用者にはCDでお届けしていますが、毎回不出来で反省することも多々あります。

私たちは現在7名ですが、和やかな雰囲気の中で活動することをモットーとしています。ご高齢の方や細かい文字が見つらい、読みづらいという方にも送付できますので、ご一報いただければと思います。

(伊東 元子)



紅葉会

昨年に引き続き花植えボランティア活動として湯本分署と社協のところへ花を植えました。

社協の花壇は地植えなので、草がかなり生えていたので5月の草むしり、7月・9月の花植えは暑いなかでの活動となり大変でしたが、植えたあとお花がきれいに咲いているところを見ると心が安らぎます。

これからもボランティア活動に精進していきたいと思います。

(安藤 のり子)



宮城野寄せ木の会



「宮城野寄せ木の会」は、高齢者の方の食事会を通して安否確認と心の交流を目的としています。年に1度の開催です。今回は11月26日に宮城野公民館で、参加者16名、ボランティア9名で行いました。

毎回どんな料理にしようか、食べやすさなどを工夫してすべて手作りにしています。ボランティアさんたちと、時間に間に合わせ料理が用意できたときは、ホッとします。皆が笑顔になりおいしいと言ってくださると、私たちも大変うれしくなります。社会福祉協議会からの食材の提供があり、助かりました。食事後、恒例のくじ引き、ゲームなどを行いおしゃべりに花を咲かせ、楽しい時間を共有できました。(星野 洋子)

はこねこTNR

野良猫0をめざして

飼い主のいない猫を放置するのではなく、猫の嫌いな人にも、ある程度許容してもらい「地域猫」として一定の管理と見守り、将来的には飼い主のいない猫を減らす事を目標としています。

TNR活動は継続することにより不幸な命を減らします。

不妊去勢手術を済ませ一代限りの命となりこれ以上増える事はありません。

2025年 地域別
箱根町内TNR70匹さくら猫デビュー
2025年1月～12月

場所	オス	メス	地域別合計数
仙石原	27	32	59
宮城野	2	2	4
湯本	0	0	0
箱根	4	3	7
温泉	0	0	0
合計数	33	37	70

保護 地域別
箱根町内41匹保護

場所	オス	メス
仙石原	12	21
宮城野	1	
湯本	3	
箱根	2	2
合計数	18	23

※箱根町1匹：保護後虹の橋を渡りました。



2025年、捨て猫からの繁殖が確認できた場所がありました。改めて遺棄は犯罪です。地域での見守り継続をお願いいたします。

○飼育困難になる前に、かわいいペットの行く先を考えてください。(遺言記載を残しましょう。)

☆ 耳カット無猫を見かけたら

☆ 猫の不要品

☆ ボランティア協力

箱根町環境課、箱根町社会福祉協議会、近所の猫好きへ連絡をお願いいたします。

代表 村岡 (090-2203-5911または

hakonekotnr@yahoo.co.jp)

仙石原小学校福祉学習

「福祉教育講座」を実施しました!

令和8年2月6日(金)、仙石原小学校の学校一日公開日にあわせ5・6年生 計22名を対象に「地域であわせに暮らす～動物福祉の観点から～」というテーマで開催しました。

講師は、はこねこTNRのご紹介でTNR手術にご尽力いただいている小田原のSwingどうぶつ病院長の平野獣医師、同病院勤務医の大宮獣医師にご協力いただきました。

5年生は今年度、6年生は昨年度社会福祉協議会職員にて社協のしごと、じぶんたちができるボランティア活動についての福祉教育講座を実施しており、今回TNR手術を実際に行っている講師の話聞いて「これからは地域で暮らす猫も地域の一員として温かい心で接していきたい」、「さくら猫(TNR済み)の証である耳がカットされていない猫を見かけたら、大人の人へ知らせたい」等の声が聞かれ、児童や参観者にとって貴重な時間となりました。

社会福祉協議会では、ボランティア等の福祉活動を広め、福祉のまちづくり推進のために福祉教育講座を実施しております。講座に関する相談も随時承っておりますので、お気軽にボランティアセンター担当までお問い合わせください! (事務局)



ボランティア仲間募集中

ボランティア活動や、ボラ連の活動に関心のある方はお気軽にご連絡ください。

●事務局●

〒250-0311 箱根町湯本855 (旧湯本中学校1階)
箱根町社会福祉協議会内

TEL 0460-85-9000

FAX 0460-85-6888

発行：令和8年3月31日

箱根町ボランティア連絡協議会